

理工学域

機械工学類

1 趣 旨

人間支援技術やエネルギー環境問題に深い関心と強い勉学意欲を持ち、自ら課題探求して、問題を解決する創造性と論理的に表現する能力に優れた人材を受け入れます。AO入試では、学力検査のみでは測りきれない能力や適性、学習意欲及び目的意識等を総合的に判定します。入学後は専門分野として機械工学を深く学ぶとともに、健康福祉機器や人間支援ロボット、新エネルギー・省エネルギー・環境適合機器の開発を創造的に進める能力を備えた人材を育成します。

2 アドミッション・ポリシー

本学類の対象は、福祉技術や医療機器、スポーツ用具や生活支援機器などの人間をサポートする技術、人間の特性を考慮した安全な機械技術、また、エネルギー・環境問題からリサイクル・材料など環境にやさしく持続的な発展を支える機械技術の分野です。

求める人材

- ・機械工学の勉学に必要な基礎学力と適性を有し、さらに機械工学と人間や社会への関わりに高い関心をもつとともに、独創性と創造性に富み、自ら問題点を解決し、新しい機械技術や工学を開拓する志をもつ人

人間機械コースにおいては、

- ・健康福祉機器や人間支援ロボットなど機械と人間の健康に興味のある人

エネルギー環境コースにおいては、

- ・地球的視野に立ち、エネルギー・資源の有効利用や自然環境と人間社会との共存に関心と柔軟な発想で課題に取り組める人

3 募集人員

人間機械コース 3人

エネルギー環境コース 3人

(注)① 合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合には、一般入試の合格者で補充します。

② 原則として、入学後の転学類・転コースは認めません。

4 入学者選抜方法

入学者選抜は、第1次選考及び最終選考により行います。

大学入試センター試験で本学類が課す教科・科目のすべてを受験しなければ、失格となります。

【人間機械コース、エネルギー環境コース】

(1) 第1次選考

提出された調査書、自己推薦書、その他(各種大会等での受賞記録や各種資格の取得証明書、サークルや地域社会等での活動に関する資料・書類、自分で設計・製作した作品の図面や写真など)により、書類選考を行います。

(2) 最終選考

第1次選考の合格者に対し、2日間にわたるスクーリング、大学入試センター試験の結果及び提出された書類を総合的に評価して選考します。

①スクーリング

【人間機械コース】

1日目: 製作又は実験課題等を課して、レポートを提出させます。

2日目: 第1日目に提出されたレポートについて試問を行い、目的意識、勉学意欲等に関して個人面接形式で評価します。

【エネルギー環境コース】

1日目: 模擬講義を行い、講義内容に関するレポートを提出させます。

2日目: 第1日目に提出されたレポートについて試問を行い、目的意識、勉学意欲等に関して個人面接形式で評価します。

②大学入試センター試験

本学類が課す教科・科目を必ず受験してください。

大学入試センター試験で課す教科・科目名: [3教科4科目] 合計250点

数 学 (数学Ⅰ・数学A) と (数学Ⅱ・数学B, 工業数理基礎, 簿記・会計, 情報関係基礎から1)	100点
理 科 (物理Ⅰ, 化学Ⅰから1)	50点
外国語 (英語)	100点

(注) 大学入試センター試験について

- ① 指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲内で高得点の順に成績を採用します。
- ② 数学のうち「工業数理基礎」, 「簿記・会計」, 「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了(見込み)者に限ります。
- ③ 数学2科目については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
- ④ 英語には、リスニングテストが含まれており、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を100点満点に換算します。なお、リスニングテストが免除となる重度難聴者については、英語の筆記試験の成績(200点満点)を100点満点に換算して利用します。

【選考日程】

	試験日	試験時間	試験科目
人間機械コース, エネルギー環境コース	平成22年11月13日(土)	13:00~	面接
	平成22年11月14日(日)	9:30~	

(注)① 試験場案内及び受験上の注意を第1次選考合格者に結果通知書と併せて送付します。

- ② 11月12日(金)午後1時以降、キャンパス内に試験場への経路案内を、試験場入口(玄関)に試験室案内等を設置します。

(3) 配 点

【人間機械コース】

- ・1日目の課題遂行状況, レポート内容:200点
- ・面接(調査書, 自己推薦書等の提出書類を含む):50点
- ・大学入試センター試験:250点

【エネルギー環境コース】

- ・レポート内容:200点
- ・面接(調査書, 自己推薦書等の提出書類を含む):50点
- ・大学入試センター試験:250点

電子情報学類

1 趣 旨

柔軟で新分野開拓に意欲を持つ自立した生命情報技術者を育成することが教育目標です。AO入試では、学力検査や面接のみでは測りきれない才能や適性, 目的意識及び学習意欲等を総合的に判定します。生命情報コースでは、生命情報の基礎である分子生物学からコンピュータ技術, 人工知能, 遺伝子情報処理に至るまでを集中的に学び, バイオテクノロジー, コンピュータ, ネットワーク, 情報機器関連の分野で活躍できる生命情報技術を修得した専門家を育成します。

2 アドミッション・ポリシー

本学類が対象とする分野は、様々な機器の動作に不可欠なエネルギー・制御・半導体・集積回路技術, 情報産業のインフラであるコンピュータ・通信技術, バイオと情報通信技術(ICT)の融合した生命情報からなり, 相互に強く関連しながら発展している分野です。このような分野の中で、特に、生命情報への限りない興味と新しい分野にチャレンジしようとする意欲を持つ人を求めます。

求める人材

- ・数学や理科が得意で、コンピュータを駆使した生物学の応用に取り組みたい人
- ・科学実験やコンピュータに関心があり、リーダーシップを発揮して創意工夫したい人

3 募集人員

生命情報コース 4人

- (注)① 合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合には、一般入試の合格者で補充します。
- ② 原則として、入学後の転学類・転コースは認めません。

4 入学者選抜方法

入学者選抜は、第1次選考及び最終選考により行います。

大学入試センター試験で本学類が課す教科・科目のすべてを受験しなければ、失格となります。

(1) 第1次選考

提出された調査書、自己推薦書、その他（各種大会等での受賞記録や各種資格の取得証明書、サークルや地域社会等での活動に関する資料・書類、自分で設計・製作した作品の図面や写真など）により、書類選考を行います。

(2) 最終選考

第1次選考の合格者に対し、2日間にわたるスクーリング、大学入試センター試験の結果及び提出された書類を総合的に評価して選考します。

①スクーリング

1日目：自然科学（数学・理科）のテーマについての模擬講義を行い、その内容に関するレポートを提出させます。

2日目：第1日目に提出されたレポートについて試問を行い、目的意識、勉強意欲等に関して個人面接形式で評価します。

②大学入試センター試験

本学類が課す教科・科目を必ず受験してください。

大学入試センター試験で課す教科・科目名：〔3教科4科目〕 合計200点

数 学（数学Ⅰ・数学A）と

（数学Ⅱ・数学B、工業数理基礎、簿記・会計、情報関係基礎から1） 100点

理 科（物理Ⅰ、化学Ⅰ、生物Ⅰから1） 50点

外国語（英語） 50点

(注) 大学入試センター試験について

- ① 指定した教科・科目数を超えて受験している場合は、指定した教科・科目数の範囲内で高得点の順に成績を採用します。
- ② 数学のうち「工業数理基礎」、「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の修了（見込み）者に限ります。
- ③ 数学2科目については、2科目の合計を表記しています。各科目の配点は各々2分の1とします。
- ④ 英語には、リスニングテストが含まれており、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を50点満点に換算します。なお、リスニングテストが免除となる重度難聴者については、英語の筆記試験の成績（200点満点）を50点満点に換算して利用します。

【選考日程】

	試験日	試験時間	試験科目
生命情報コース	平成22年11月13日(土)	13:00～	面接
	平成22年11月14日(日)	9:30～	

(注)① 試験場案内及び受験上の注意を第1次選考合格者に結果通知書と併せて送付します。

- ② 11月12日（金）午後1時以降、キャンパス内に試験場への経路案内を、試験場入口（玄関）に試験室案内等を設置します。

(3) 配 点

レポート及びレポートについての試問：150点

面接（調査書、自己推薦書等の提出書類を含む）：100点

大学入試センター試験：200点